

KUNST ARZT では、2年ぶり、5度目となる久保木要の個展を開催します。久保木要は、“未知の文明の痕跡”をテーマに陶やアクリル板で表現するアーティストです。近年のアクリル板での展開には、陶でも内包していたアニミズムや呪術的な魅力に加え、ユーモラスさやポップさも加わっています。本展では、アクリル板作品を通して壁面に現れる像（影とは言い難い色彩を有する）と作品本体との関係性に着目した展示構成です。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



DOOR 2022

#### 経歴

1990 京都府生まれ  
2017 京都精華大学 大学院 陶芸領域修了

#### 個展

2016 NICE BEACON (同時代ギャラリー コラージュ)  
2017 THE NOU (KUNST ARZT)  
2019 BONUS TRACK (KUNST ARZT)  
2020 ウィスパー 〈ガラガラ〉 (KUNST ARZT)  
2021 CURTAIN CALL (KUNST ARZT)  
2021 CURTAIN CALL#2 (新宿眼科画廊)

#### 主なグループ展

2016 Antrum (ギャラリー器館 1F コーナー展示)  
2016 Step/Stroke (ギャラリー恵風)  
2016 インターページ (2人展/ギャラリーフロール)  
2017 インターページ2 (2人展/Kara-s)  
2018 京都府新鋭選抜展 2018 (京都文化博物館)  
2018 呪と祝 (KUNST ARZT)  
2018 EXOTICA (富山市ガラス美術館ギャラリー)  
2019 京都府新鋭選抜展 2019 (京都文化博物館)  
2019 第70回華道京展 (京都 大丸ミュージアム)  
2021 「パラレル」 (2人展/KAGAN HOTEL)  
2021 SICF22 (青山スパイラルホール)  
2022 あまがさきアート・ストロール in A-Lab 「Enjoy!」 (A-Lab)  
2022 阪急梅田本店コンコースウインドウ展示 「Happy Communication」

#### レジデンス

2018 滋賀県立陶芸の森アーティストインレジデンス

2023年2月25日(土)から3月5日(日)

12:00 から 18:00 月休み

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

### アーティスト・ステートメント + 展覧会コンセプト

「未知の文明の痕跡」をテーマとし、陶を中心に、近年ではアクリル板を用いて制作をしています。

陶の作品は、いくつかの部品を組み上げることで、一つの形になります。

立体物を組み上げる動作を通して、物体には残らない記憶を保存したり、呼び起こす機能を持たせることを目的としています。

一方、アクリル板を幾層にも貼り合わせたオブジェは、内部の粒状のパーツが、外側の動きに従い、稼働し、「音」や「光」の動きを発生させます。これらは、「音」や「光」を発生させることで目に見えない存在を認識する、呪術的道具の機能を模しています。

いずれも、物体に触れる中で、形を持たないものの存在を想起させる機能について考えたものです。

展示では、アクリル板を用いて、そこに実在している「物体」と、光を通して現れた実在しない（かもしれない）「像」の揺らいだ関係性を表現したいと考えています。

アクリルのオブジェを本体を光で照らすと、光はアクリルを透過し、アクリル板の向こう側にある物体(壁面など)に像が投影されます。物体を透過し投影された像は、光の屈折により、物体よりも克明な姿が現れます。そこには、実物と像の逆転していくような奇妙な感覚が現れます。



あまがさきアート・ストロール  
in A-Lab「Enjoy!」  
展示風景  
A-Lab (2021)



CALL\_A  
2021  
レーザーカットした  
アクリル板



CALL\_C  
2021  
レーザーカットした  
アクリル板ほか